



2025 明治安田 J3 リーグ 第 9 節
4/13 (日) 14:00 kick off
@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

today's guest
栃木 SC

順位表

4/6現在
基本 8 試合消化時点

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績（岐阜から視て）

注：＊印は消化試合が数字分少ない

1	FC大阪	16p	+4	9	5	A△
2	鹿児島	15p	+7	16	9	
1*3	北九州	15p	+6	9	3	H○
4	栃木 C	15p	+2	11	9	
5	奈良	13p	+2	12	10	A△
6	宮崎	12p	+2	9	7	
1*7	金沢	11p	+2	10	8	H●
1*8	福島	11p	+1	13	12	A●
1*9	八戸	11p	+1	8	7	H●
10	讃岐	10p	0	7	7	
11	高知	9p	+3	13	10	
1*12	長野	9p	-3	9	12	
13	琉球	8p	-1	6	7	
14	栃木 SC	8p	-2	5	7	
15	群馬	8p	-4	9	13	
16	相模原	8p	-5	6	11	
1*17	沼津	7p	0	6	6	
2*18	松本	6p	-4	5	9	H△
19	岐阜	6p	-5	9	14	---
20	鳥取	6p	-6	5	11	A●

次回HomeGame

第10節 vs.カマタマーレ讃岐

4/20 (日) 14:00

@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

大酒場 ホームラン

名鉄岐阜駅前（三菱UFJ銀行隣り）
年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

「いらっしゃいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。
休：月曜日

今日もここから
串かつで一杯
煮込み珍道中
14:30 ~ 22:00 (L.O. 21:00)
※売り切れ次第、終了です
<定休日：日曜・祝日>
TEL. 058-252-1580



通算対戦成績		全23試合（J2:19試合、JFL: 2 試合、天皇杯: 2 試合） 岐阜7勝 / 栃木SC11勝 / 5分け Jリーグ岐阜ホーム戦：2勝3分4敗			
直近の対戦結果		2019/09/07 岐阜 0-0 栃木SC J2 - 31節@長良川			
ここ 3 試合の 公式戦の 結果	岐阜	2025/04/05 J3 - 08節@ロートF 奈良 1-1 岐阜		栃木SC	2025/04/06 J3 - 08節@栃木グ 栃木SC 0-1 八戸
		2025/03/29 J3 - 07節@長良川 岐阜 1-1 松本			2025/03/30 J3 - 07節@カンセキ 栃木SC 1-1 栃木C
		2025/03/23 J3 - 06節@A x i s 鳥取 3-0 岐阜			2025/03/26 ルヴァン杯@栃木グ 栃木SC 0(pk)-0 仙台

●2025 シーズンの J 3、長く暗いトンネルから抜け出せない FC 岐阜。3/29 (土) 第 7 節・ホーム松本戦は、試合開始直後に連携ミスで PK を献上してしまい、先制点を許す。その後、攻勢を強める岐阜だったが、得点を奪えずに前半終了。すると後半には松本に退場者が出て、さらに攻勢をかける岐阜だが、それでも松本の堅い守備に得点を奪えない。このままかと思われた後半 AT、ようやく #10 北龍磨のシュートが決まって 1 - 1、勝点 1 を分け合う結果となった。続く 4/5 (土) 第 8 節・アウェイ奈良戦は、前半に何度も決定機を演出する岐阜だったが、これを決められずにいると、逆にカウンターを浴びて失点してしまう。直後の前半 37 分に #8 荒木大吾のヘッドで同点に追いつくが、後半は両チームとも攻守が入れ替わる展開だったがゴールは生まれず、1 - 1 のドローに終わった。

この 2 試合の結果、FC 岐阜の順位は、なんとか 19 位に上昇。シーズン全 38 試合中 8 試合を消化して、得点はリーグ中位にも関わらず失点がリーグワースト、しかも無失点試合が 1 つも無いのが、チーム低迷の大きな原因だろう。そして直近 2 試合で、勝てる試合、勝たなければならなかった試合を引き分けてしまい、チーム上昇の機運が削がれてしまったことが本当に悔やまれるが、もう終わった試合はやり直せない。次に来る試合のために全力で準備して、全力で戦い、勝利を掴み取ってゆくしかない。そして、J クラブライセンス保有クラブが JFL にひしめいている今季の状況を考えると、まずは現在の順位（19 位：JFL 入れ替え戦出場枠が想定される）を脱出することが、最初の目標だ。そして、1 試合ごとの勝利の積み重ねが、さらなる目標に繋がっていくはずだ。その勢いを得るために、このホーム連戦は非常に重要になってくるだろう。今節こそ、チームが勝利する姿を、ホーム・長良川で僕ら岐阜サポーターに見せて欲しい。

さて、今節の対戦相手は栃木 SC。2009 年の J 加盟以来、長らく J 2 で活動していたが、昨季ついに J 3 降格。今季は 1 年での J 2 復帰を至上命題にして、昨季 5 月に就任した小林伸二監督を続投させたが、選手は大幅に入れ替わることになった。栃木 SC の現在の成績は、2 勝 2 分 4 敗・5 得点 7 失点で順位は 14 位。J 3 カテゴリー 1 年目、リーグの違いに慣れていない印象も受けるし、複数得点の試合が無い点からも、岐阜と同様、まだ波に乗れていないチーム同士の対戦と言えるだろう。そして、栃木 SC との勝点差は 2。どちらのチームが波に乗れるのか、今後を占うこととなる、重要な“6 ポイントマッチ”となる試合だ。なお、栃木 SC との（J リーグでの）通算対戦成績は 5 勝 5 分 9 敗・15 得点 25 失点だが、2019 年以降の対戦のため、参考にしかない。

栃木 SC で最も警戒すべき選手には、#10 五十嵐太陽を挙げる。川崎の下部組織出身で、育成型期限付き移籍して #10 を背負っている中心的選手だ。また、ドリブラーの #7 棚橋亮士やベテランの #29 矢野貴章にも注意が必要だ。そして、栃木 SC のスタッフには、長島裕明ヘッドコーチ（2017 ~ 2018 年は岐阜のヘッドコーチ）、上杉哲平 GK コーチ（2023 ~ 2024 年は岐阜の GK コーチ）がいる。岐阜の選手たちは、負けたくない気持ちが普段以上に強いはずだ。わずかに改善の傾向は見られるものの。まだ結果が出せずに苦しんでいる現在の岐阜。迷いも出てしまうであろう、選手たちの背中を押して、自信を持って一歩を踏み出させるために、僕ら岐阜サポーターの声援が必要だ。タオマフやゲーフラ、フラッグでスタジアムを緑に染めて、時には叱咤激励しながら、響き渡るチャントや拍手で、選手たちを鼓舞しよう。そして今節こそは、試合終了の笛と同時に選手たちと共に勝利の歓喜を分かち合い、“HYPER CHANT”を、このホームスタジアム・長良川に響き渡らせよう。（ささたく）

投稿募集 !! gidaidohri@gmail.com

【第7節】岐阜 1-1 松本

●桜が舞う初春のデーゲーム。この試合こそは、チームの開花宣言を…と思っていたのだけれどねえ…（溜息）。慎重な出だしかと思いきや、自陣でのバックパスを狙われて、PA内で相手を倒してPK献上。試合の序盤から、あんな危険な位置で不用意なプレーとは、本当に猛省しないとダメです。ただ、その後は岐阜が優勢に。とりあえず、#8 荒木大吾がスタメン復帰したのが効いていたかなと僕は思う。両WGが外に張るだけじゃなく、中にも絞ってきて2トップのような形も作ることで、FW陣の連携が少しは良くなったように思う。けれど、どうもFWラインとDFラインの間が開きすぎてるように見えた。それは相手のDFラインを押し込んでいるという見方もできるのだけれど、ボールが届いていないというか、2列目が追いついていないという状態で、やっぱり効果的な攻撃には繋がらない。守備時にボランチの#23 萩野滉大が下がって5バックになってるから、押し上げが不足するのも理由かもと僕は感じた。そして、後半8分に相手DFが#39 泉澤仁の足首を後ろから刈って一発レッド。まあ妥当な判断だと思うけど、そこからは試合が荒れ模様に。両軍合わせて6枚のイエローと1枚のレッド。確かにこの日のスタグルは「カレーまつり」だったけど、ピッチ内でも「カレー（イエローカードの隠語）まつり」をやらんでも（苦笑）。さて、松本は守備固めをして1点を守り切る作戦に割り切り、岐阜は攻撃に重心をかける。けれど、フィニッシュの精度不足や、松本の粘り強い守備で、岐阜はゴールを奪うことができない。入ったと思ったけどライン上で掻き出されたことも。しかし、最後に松本の守備を崩したのは#10 北龍磨のミドルシュート！ずっと押し込んでいたから松本の守備ラインが下がっていて、フリーだったのが奏功した。ただし、追撃はここまで。シュート23本を撃って1点というのも寂しい数字だし、1人多い時間帯が長かったのに勝てなかったのも悔しい話だけれど、まずはホームで負けなくてよかったと、前向きに考えるしかないかなと思いました。チームの開花宣言はお預け。しかしこの引き分けが、今後のチームの躍進に繋がると信じていたいものです。（ささたく）

●まずは、たくさんのお越しでありがとうと相手サポさんにお礼を。おかげさまで、久しぶりに六千人超え。ウチの声量もなんとか張り合えるレベルにはなった、かな？以前はフツーに負けてましたからね。もっと、たくさん来てたから（笑）。でも、さすがに、いつものメインスタンド・アウェイ側は、しっかりと『アウェイ』な雰囲気。そんな状態だったんで、同点ゴールの時は両手を突き上げ、立ち上がって絶叫するぐらい、テンション上がりまくり。うん、エンタメとしては満足できました。エンタメ、ならね。

冷静になってみれば、1人少ない相手になんとか負けずに済んだ……というだけの話。現場では「一発レッド、あたりまえ！」と思ってたけど、ダイジェストで見たら黄色でもおかしくないプレーだったよね。それと、先制されたPKは余分。あれも鳥取戦同様『安全第一』にすべきだった。ダイジェストと言え、現場で感じた気持ちは、やっぱり間違いなかったな、と。長良川が番町皿屋敷になりかけた日だった。だって、どっちのお菊さんも怖いんだよ。「一枚足りない……」というのが共通点。ただ、あっちは「一枚足りない」が怖い話だけど、この日の長良川は「一枚足りなくても」怖かった。何回も裏を取られたけど、旗が上がったアノ場面。ホントにオフサイドだったかな？目の前だったが、かなり、ギリギリ。

本当に菊井が怖かった。あれじゃあ、人数が多かったって、野沢もカイケンもおいそれとは上がれないよね。昨季のアルウィンでカレの人柄にも感銘を受けたし、よかったらウチでいっしょにやらないか？と誘いたい。

あと、一つだけお願い。脳震盪の可能性もある選手に対するヤジやブーイングは控えてほしい。出来れば、チャントも。タンカを見れば状況がわかるよ。脳震盪用とそれ以外では種

類が違うから。声を出すことでピッチの中と外の連絡が取りづらい状況になるのは避けるべき。生命に関わることだから。ゴール裏をリードしてる方々には注意喚起をお願いします。（ぐん、）

【第8節】奈良 1-1 岐阜

●この試合では、いままでフル出場していた#55 外山凌がベンチ外に。大島監督も色々と考えて、変更の手を打ってきてるのが分かります。少しでも早く“最適手”に至れると良いのだけれど……。んで、そのために今の岐阜に必要なのは、やはり『頼れるストライカー』だと、この試合では痛感させられました。FWラインとDFラインの間が改善されたのか、松本戦と比べて、ボールがFWの手前に来るというよりは、裏抜けの展開にできた場面が多かったように思う。けれど、その決定機を、決められない。よく、「ストライカーは89分間何もなくても、1分で仕事をすれば（得点すれば）良い」と言われますが、逆に言えば、仕事ができなければ批判が集中するポジション。ハイライトだけでも3回、実際には倍ぐらいあったと思われる決定機を決められないのだとしたら、これは選手起用や配置を考え直すべきじゃないんだろうかと僕は思う。気のせいか、自信を失ってるようなプレーにも見えて…（溜息）。そして、「決定機を外していると相手に決定機が来る」というのも、サッカーではよく言われる話で。敵陣で奪われたカウンターに、油断したのか足が止まりかけていたのか、プレスバック不足で相手に右サイドで十分な時間を与えてしまい、狙い澄ましたクロス、そして失点。守備という運動量というか、ああいう簡単な失点を防ぐための策が、もっと必要だと感じました。またも追う展開になってしまった岐阜。しかし前半37分、#26 大串昇平のクロスを、中央で構えた#8 荒木大吾がヘッドで同点！この勢いで逆転したい岐阜だったけれど、HTに#39 泉澤仁が交代したからなのか、それとも奈良の修正が効いたのか、前半に比べると後半は奈良がやや優勢な展開に。もちろん岐阜にも惜しいシーンはあったし、初登場の#9 ドウドウは、流石と思わせるプレーを見せてくれた。これでコンディションが上がってくれば、期待できるかも…？結局、後半はスコアが動かず1-1。非常に勿体ない試合でした。（ささたく）

●試合はドロー。またしても、関西での勝利はお預けとなった。追いついてのドローだからヨシ……とは言えないが、とりあえず、そう思おう。双方にチャンスとミスがあり、共にあと3点は入っててもよかった。松本戦同様、エンタメとしては面白かった……と言っておこうか。セランテスが2点は防いでくれた、かな？

あと、ようやく、11番の使い方がわかってきたって気もする。「ヒトを使う」選手ではないし、ポスト・タイプでもない。裏を狙うのがベストなタイプだからオフサイドが増えるのは仕方ない。89分は何も出来ないかもしれないが1分で結果を出す選手。それはわかった。だから、3回はあった決定機。1回くらいは決めてほしいな。せめて、枠には入れようか。バーに嫌われたヤツもあったけど、アレもあんなに思い切り打たなくてもいい。どんなに力込めてもネットが破れるようなコトはないんだから。途中出場のドウドウは悪くない出来だった。だから、余計に焦りはあるだろうが、ゴール前では冷静になるコトも必要かな？

あ、そう言えば、なんで泉澤替えたんだろう？あのままでよかったよね？それと、あいちゃんはやっぱ、真ん中か、右サイド。シュートを打てる位置に置いた方がいいと思うんだけどなあ。まだまだ、ガマン、だね。今月はあと3つの勝ち点を稼いでくれたら、それでいい。ずっとスタメンだった外山がベンチ外。アンタッチャブルはない……ってコトかな？競争が激しくなるのはいいコトだろう。切磋琢磨しながら成し遂げてほしい、下剋上。頼んだよ！（ぐん、）